



きよせ市議会だより



【きよせ市民まつり2010】

平成21年度清瀬市一般会計の決算は、歳入決算額278億284万2千445円、歳出決算額270億1千330万6千738円で、決算残額7億8千953万5千707円のうち、繰越明許費繰越額9千623万8千円を除く、6億9千329万7千707円が翌年度への実質繰越額となり、昨年度に比べ1億5千445万10円の増額となっています。

また、標準財政規模に対する実質収支額の割合である実質収支比率については5.0%となっており、前年度より、1ポイント下回っています。

歳入の決算額は、予算額に対し2億4千552万3千555円の減額となり、予算に対する収入率は、99.1%と、前年度より0.5ポイント下回っています。

決算のあらまし

平成22年清瀬市議会第3回定例会は、9月3日(金)から9月30日(木)までの28日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成21年度清瀬市一般会計決算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療の各一般会計決算及び各特別会計

特別会計決算に関する議案等市長提出議案(補正予算・条例等)16件、議員提出議案(条例・意見書)11件、市民の皆様から提出された請願1件、陳情7件を審議し、4件の報告を受けました。

なお、平成21年度清瀬市一般会計決算及び各特別会計

平成21年度の決算を認定

平成22年 第3回定例会

算に関する議案は、開会中の決算特別委員会及び所管の常任委員会において、それぞれ審査され第3回定例会の最終日に、委員長の審査報告を受け、採決を行った結果、平成21年度決算はいずれも認定されました。提出された議案等の審議結果は12面に掲載しています。

います。また、歳出の決算額は予算額に対して96.3%の支出率となり、前年度より3.8ポイント上回っています。

市議会の会議録は市のホームページでご覧いただけます。

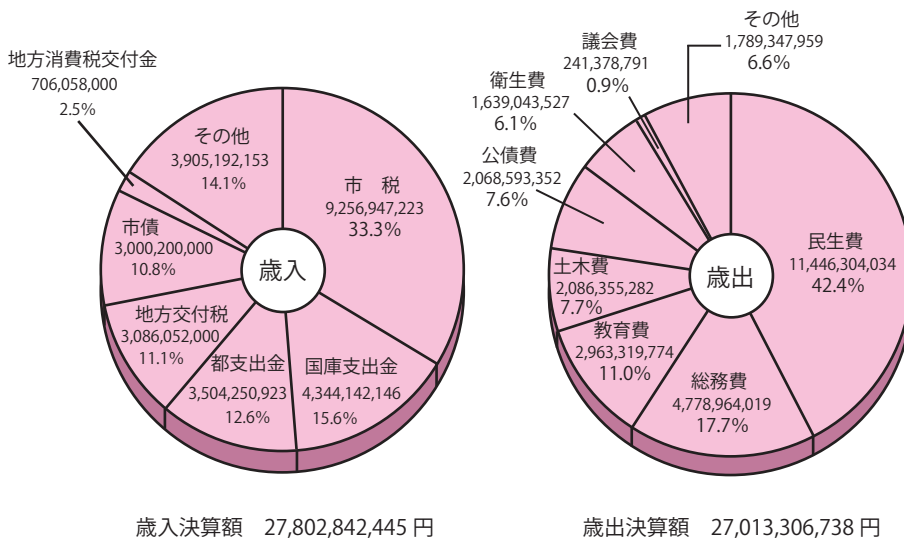
市議会はいつでも傍聴できます。

市議会についてのお問い合わせは議会事務局へ

電話 042 492 5111
内線 432

款別決算額比較表(図表)

歳入 歳出 (単位:円)



一般会計歳入歳出決算内訳



平成 21 年度 一般会計決算討論要旨

反対討論 日本共産党

小泉政権が進めてきた構造改革路線が普政権にも引き継がれ、失業者やワーキングプアが急増する中、市民への生活支援策が不十分です。政府は、地域主権の名で、本来国が保障すべき最低基準の切捨てを狙っています。市はこれを容認し、さらに第4次「行革」として、公共料金の値上げなどを検討しています。また、税の滞納者に対し、住民へのサービス(福祉や教育など)を制限することも検討しており、許せません。共産党は低所得者への家賃補助の創設を求めてきましたが、検討すらされていません。児童保育を希望している1年生が入れない現状を解決するため、増設を図るべきです。税滞納者への「取り立て」ではなく、生活再建を柱にした相談に改めるべきです。以上、決算には反対します。

賛成討論 清瀬自民クラブ

平成21年度は後期基本計画が掲げる向こう7年間のまちづくりのスタート年であり、中長期的視点に立った施策展開が行われた。少子化が進む中、人づくりに向け予防型子育て支援策「ホームビジター派遣事業」や教員の指導力を高めるため、「清瀬教師塾」が行われた。また、市民活動の場の整備として音楽ホール機能を充実させた「清瀬市民センター」の再整備事業のスタート、さらには、清瀬の特性を活かした「台田の杜」のオープンや農家へのパイプハウス整備事業等都市農業の振興に努めた。一方、歳入面で市税等減額する中、地方交付税が増額となったが、地方債の増加が人口減少社会の中で不安も残る。しかし、第4次行財政改革に取り組むことが示されており、今後の市財政運営に対しても期待できると判断し賛成する。

賛成討論 清瀬・生活者 ネットワーク

まちづくりは「ひとつづくり」という予算編成方針で、中学校の耐震化を進め、就学援助枠を拡大し、子どもの医療費軽減が行われた。また、子育て不安にある家庭を支援するホームビジター制度や、障がいを持つ子どもたちのために「とことこ」がスタートし就学前の相談・支援体制が整い、学校の特別支援教育との連携も充実し評価している。しかし、協働のまちづくりと言いつつ、いまだに「市民協働のガイドライン」に着手していない。さらに、職員の人材育成では、やる気が問われる実施計画だ。早急な見直しを求める。行政評価制度も、行政の仕事ぶりを職員自身が評価する方法から、市民参加の評価委員会による第三者評価を取り入れる必要がある。市民に分かりやすい情報提供と共有で協働を推進することを期待し賛成討論とする。